

学習内容と到達目標

- ☞ ①身近にある物の名前を覚える。
- ②買い物ができるようになる（値段を聞いたり、それが何かを尋ねたりできるようになる）。

指導のポイント

- 1. VOCABULARY** ここである程度語彙を定着させておく。予習が不十分で、語彙の定着も不十分と判断した時は、例えば、②で CD を聞いて答えを確認した後に、スクリプトと同じように「これは何ですか」「それはつくえです」と学生同士で練習させ、定着を図る。
- 2. PAIR WORK** ペアワークと言っても、語彙と文型の定着を目的とした練習なので、予習が十分になされていれば、簡単に済ませてしまってもかまわない。
- 3. FOCUS** ③は、クラスが多国籍の場合には、それぞれの国のあいさつを紹介し合う。国籍が偏っている場合には、[1. VOCABULARY] で取り上げた以外の身近にある物を日本語で何と言うか、辞書で調べ、名前を聞き合う（あるいは教師に聞く）。モデル会話では「～は日本語で何ですか」ではなく、「～って日本語で何ですか」になっていることに注意。
- 4. LISTENING** ①では CD を聞く前にあらかじめ各選択肢の値段の言い方を確認しておく。
- 5. FOCUS** [4. LISTENING] ③の答えを確認すると同時に、太字で表記された表現の意味と使い方を確認する。
- 7. PAIR WORK** 練習する時、「この鉛筆はいくらですか」「100 円です」でもいいが、[5. FOCUS] ①の会話を真似て練習させるようにする。（学生 B 用の情報カードは巻末の 265 ページに）。スーパーのチラシなどが手に入れば、それをコピーし、値段をホワイトで消すなどして練習に使うのもよい（ただし、そこで出てきた語彙、例えば「洗剤」や「歯磨き粉」などは、語彙クイズなどの対象にはしない）。

活動例

①日用品の値段を調べる

- ☞ 学生を複数のグループに分けてそれぞれ別の店に行かせ、買い物リストに書かれた商品の値段を調べてこさせる。そして、何がどの店で一番安かったかをまとめさせる。[4. LISTENING] で値段の言い方を練習した後に実施。授業中に外へ出すのが難しい場合は、放課後の宿題として調べさせる。

注. 国際コースの学生たちが勉強している新キャンパスは開発がまだあまり進んでおらず、学内にコンビニがあるものの、歩いていける距離にスーパーやショッピングセンターがない。また、学生はみな毎日のように4時限目まで授業があるため、宿題として実施することも難しく、結局我々のコースではこの活動を実施できなかった。

②物価比較

☞ 日本の物価が高いというのは誰もが認めるところであるが、それでも比較的割安な物と割高な物があるはず。また、一般に「物価が安い」と言われている国でも、食料品などの生活必需品は確かに安いが、嗜好品や家賃は高いということもある。そこで、世界規模で展開しているマクドナルドのチーズバーガーや、スターバックスのレギュラーコーヒーなどの値段を 100 として換算した場合、食料品や衣料品、公共交通機関の料金などがいくらになるかを計算し、日本は具体的に何が高いのか、あるいは物価が高いと言われる日本でも、他の物に比べると、比較的割安な物は何かを調べさせる。[4. LISTENING] で値段の言い方を練習した後、もしくはこの課の最後に仕上げの活動として行う。

授業で使えるリソース

☞ Yahoo や Google などのポータルサイトで「物価比較」をキーワードに検索すると、日本と世界各国の物価比較をした資料がかなりたくさん見つけれられる。2010 年 12 月現在では、国際金融情報センターが公開している「世界各国の物価水準—日本の物価との比較」というレポートが見つかった。他に中国やベトナムなど、特定の国と日本との物価を比較した資料が多数ある模様。

プチ情報：ビッグマックの値段

イギリスのエコノミスト誌は、毎年世界各国のビッグマックをドル建てにした価格を発表しているらしく、それによると 2010 年の主な国の価格は以下のようにになっている。スイスの \$6.30 には驚き。

オーストラリア	\$3.98	ポーランド	\$2.86
カナダ	\$3.97	ロシア	\$2.34
中国	\$1.83	シンガポール	\$3.19
ユーロ圏	\$4.84	南アフリカ	\$2.46
ハンガリー	\$3.86	韓国	\$2.98
インドネシア	\$2.24	スイス	\$6.30
日本	\$3.50	タイ	\$2.11
マレーシア	\$2.08	トルコ	\$3.83
メキシコ	\$2.50	イギリス	\$3.67